

通信コスト削減のご提案

【1秒電話サービス】

■一般的な電話料金の計算方法

例：一般的なNTT固定電話の料金

		加入電話の 通話料※3	ひかり電話の通話料 (基本プランおよび ひかり電話A(エース))
	市内	8.5円/3分	加入電話、 INSネット、 ひかり電話への 通話料が 全国どこへかけても 8円/3分
	県内市外	20~40円 /3分	
	県外	20~80円 /3分	
	NTTドコモ	20円/60秒	16円/60秒
	au	30円/60秒	17.5円/60秒
	SoftBank	40円/60秒	

一般的なご契約は料金計算が
『分』単位になっています



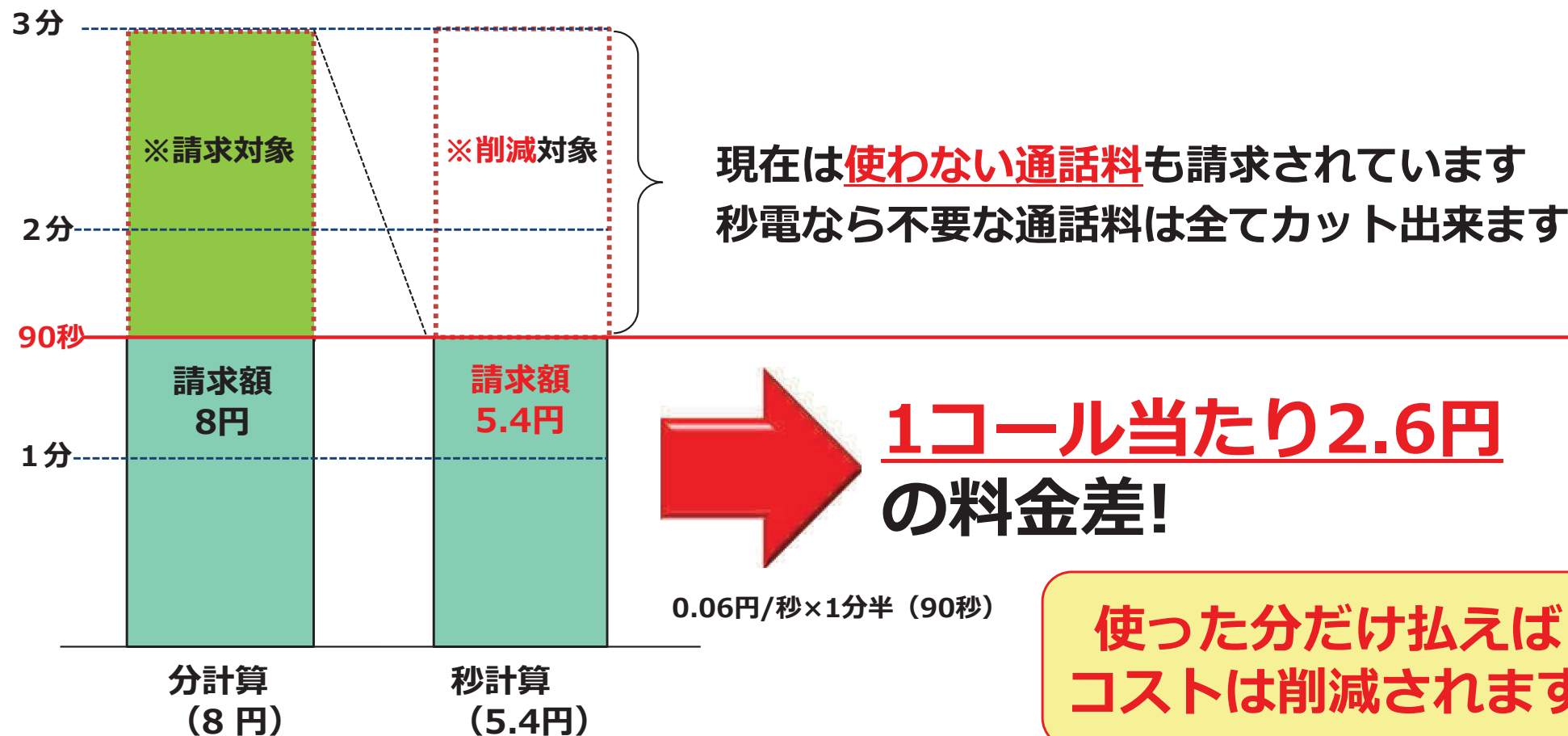
固定電話は3分、携帯は1分単位で
計算されるため、0分00秒の通話でも
必ず**繰り上げて、分計算**されます

※大口割引などを受けている企業さまでも、請求の合計額から割引になっているだけで、実際の課金は分計算です

現在の料金計算方法では、使用していない時間分まで課金対象
どうしても余分な料金が発生しています

■秒課金による電話料金の例(対固定/アウト・インバウンド)

3分8円で1分半（90秒）通話した時の料金比較（弊社料金例¥0.06/秒）

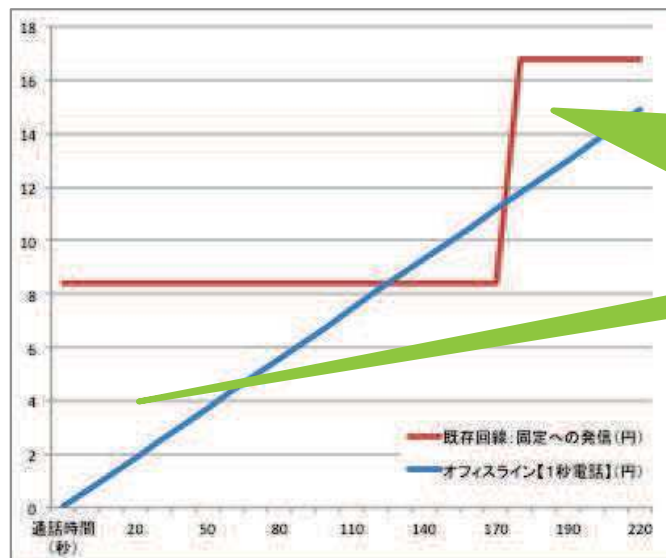


アウトバウンド、インバウンドにかかわらず
分計算から秒計算に変更すると削減効果が見込めます！

■既存回線(対固定電話/アウト・インバンド)の比較例

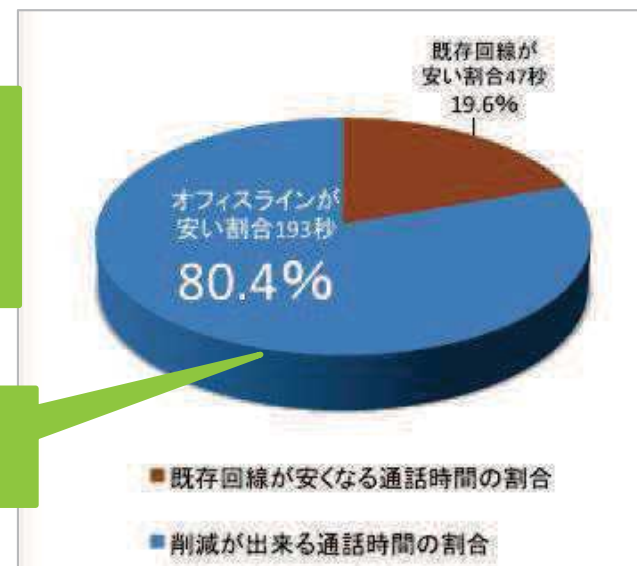
例1) 4分間、固定電話に通話した場合(単価料金例¥0.06/秒)

通話時間(秒)	1	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	181	190	200	210	220	230	240
既存回線:固定への発信(円)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	16	16	16	16	16	16	16
オフィスライン【1秒電話】(円)	0.06	0.6	1.2	1.8	2.4	3	3.6	4.2	4.8	5.4	6	6.6	7.2	7.8	8.4	9	9.6	10.2	10.8	10.86	11.4	12	12.6	13.2	13.8	14.4
差額(円)	-7.94	-7.40	-6.80	-6.20	-5.60	-5.00	-4.40	-3.80	-3.20	-2.60	-2.00	-1.40	-0.80	-0.20	0.40	1.00	1.60	2.20	2.80	-5.14	-4.60	-4.00	-3.40	-2.80	-2.20	-1.60
削減率	-99%	-93%	-85%	-78%	-70%	-63%	-55%	-48%	-40%	-33%	-25%	-18%	-10%	-3%	5%	13%	20%	28%	35%	-32%	-29%	-25%	-21%	-18%	-14%	-10%



197秒の通話時間は削減
(1~133秒、181~240秒)
43秒間の通話時間は割高
(134~180秒)

約80.4%の通話時間は削減
約19.6%の通話時間は既存が安い



例2) 席数30席、1人あたり1日200コールの打電(受電)で、固定電話へ平均通話時間が90秒の場合 (総打電・受電数180,000回/月、単価料金例¥0.06/秒)

	1コール 使用金額	月間総呼数	通信料	コスト削減額
分計算料金	¥8	180,000件	¥1,440,000	¥468,000
秒計算料金	¥5.4		¥972,000	

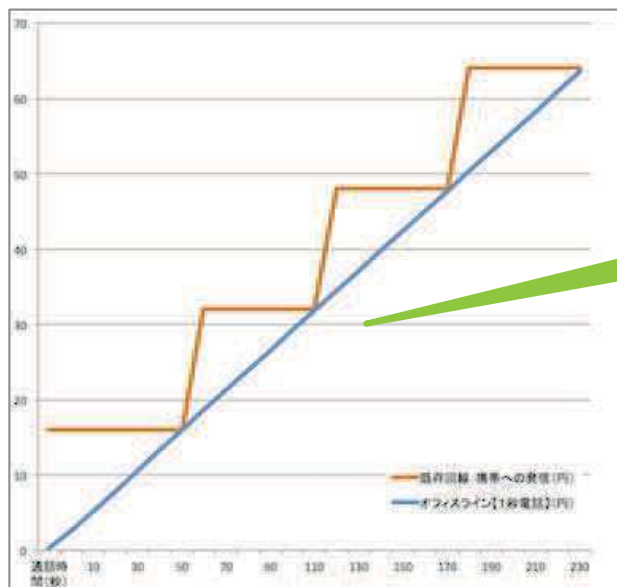
**削減率
32.5%** → **468,000円/月
コスト削減**なので...

年間で**5,616,000円**が、御社の**純利益**になります

■既存回線(対携帯電話/アウト・インバンド)の比較例

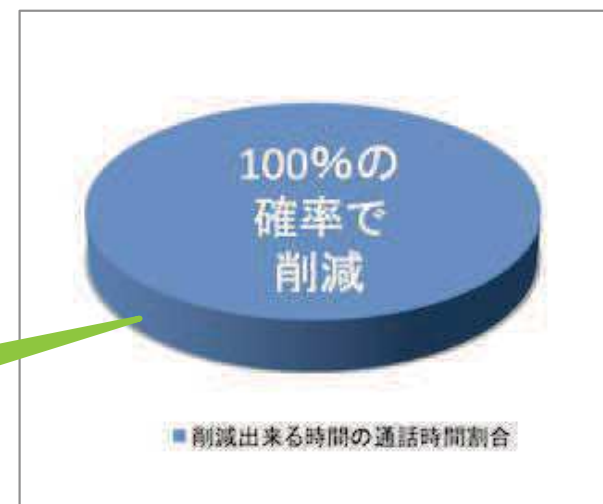
例1) 4分間、携帯電話に通話した場合(単価料金例¥0.265/秒)

通話時間(秒)	1	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180	181	190	200	210	220	230	240
既存回線:携帯への発信(円)	16	16	16	16	16	16	16	32	32	32	32	32	32	48	48	48	48	48	48	67.2	64	64	64	64	64	64
オフィスライン【1秒電話】(円)	0.265	2.65	5.3	7.95	10.6	13.25	15.9	18.55	21.2	23.85	26.5	29.15	31.8	34.45	37.1	39.75	42.4	45.05	47.7	47.97	50.35	53	55.65	58.3	60.95	63.6
差額(円)	-15.74	-13.35	-10.70	-8.05	-5.40	-2.75	-0.10	-13.45	-10.80	-8.15	-5.50	-2.85	-0.20	-13.55	-10.90	-8.25	-5.60	-2.95	-0.30	-19.24	-13.65	-11.00	-8.35	-5.70	-3.05	-0.40
削減率	-98%	-83%	-67%	-50%	-34%	-17%	-1%	-42%	-34%	-25%	-17%	-9%	-1%	-28%	-23%	-17%	-12%	-6%	-1%	-29%	-21%	-17%	-13%	-9%	-5%	-1%



既存回線が安くなる通話時間は無し
通話削減が確実に可能です

100%安くなります！



例2) 席数30席、1人あたり1日200コールの打電(受電)で、携帯電話へ平均通話時間が90秒の場合
(総打電・受電数180,000回/月、単価料金例¥0.265/秒)

	1コール 使用金額	月間総呼数	通信料	コスト削減額
分計算料金	¥32	180,000件	¥5,760,000	¥1,467,000
秒計算料金	¥23.85		¥4,293,000	

削減率
25.4%

1,467,000円/月
コスト削減なので…

年間で17,604,000円が御社の純利益になります

■導入実績例

業種	主な利用	平均通話時間	削減実績
コールセンター業	イン・アウトバウンド	93秒	▲44%
通信販売業	インバウンド	119秒	▲23%
業務用スーパーチェーン業	イン・アウトバウンド	104秒	▲64%
不動産仲介業	アウトバウンド	86秒	▲39%
メディアマーケティング業	インバウンド	107秒	▲30%
保険販売代理店業	アウトバウンド	58秒	▲81%
訪問販売営業	アウトバウンド	75秒	▲54%

取引実績 約180社

*2014年1月現在（オフィスラインサービス提供以前も含む）

※S社、N社などで既に市外・県外通話80%以上の割引を受けている企業様を中心に抜粋

■オフィスラインのメリット

現在、ご利用のお電話番号はそのままお使いいただけます

- ・他社サービスをご利用の場合でも、現在の番号を変更せずご利用になれます（エンドユーザー様のダイヤル方法は変わりません）ただし、条件によっては無理な場合もございます

通信コストを大幅に削減できます

- ・事業者間料金適用による **1秒単位計算での課金**
- ・時間帯や距離による料金変更がない **全国一律料金**
- ・携帯電話 **単価の優位性**

他社の3分課金などに比べて、余分な通信料をカットすることにより圧倒的なコスト削減をお約束します

万全の保守・サポート体制で安心です（大手通信事業社のサポートをそのまま利用出来る！）

- ・自然災害や事故に備えてネットワークを二重化するとともに、24時間体制で監視
万が一の場合の保守体制も万全です
- ・カスタマコントロール専用のヘルプデスクをご用意、ご利用のお客様のサポートも充実しています
（サポートセンターのご利用は再販のため問合せは㈱アジャストワン名義になります）

さまざまな付加サービスが利用可能です

- ・各キャリアが提供する発信先限定・時間帯による着信先変更・着信数限定などの充実した付加サービスも利用可能です（1部有料となります）

■オフィスラインのデメリット

キャリアの与信がございました

- ・ 案件毎に各キャリアに審査を依頼するため、保証金を頂く場合がございます

ご注意

- ・ **回線基本料金**が発生致します ※この分を入れて大幅な経費削減をご提案致します
- ・ 弊社とユーザー様との間で新たに電話回線を契約をする形になります ※既存回線は休止する事になります
- ・ ご契約期間は**2年**となります※解約の際は、**基本料金×残月数分**の料金のみご負担下さい
- ・ ご利用の回線数に応じて、**回線管理費用**が発生する場合がございます（1企業様10,000円/月）
- ・ 提供元キャリアからのアクセスチャージ改訂があった場合、事前通知により提供料金を改定することがございます

今回の回線再販契約では、前頁のような大きなメリットが
ございますが、いくつかの注意点をご理解頂きたいと思います

■オフィスライン導入までのフロー

診断ステップ（無料）

① 既存利用情報のご提供

概算の料金シミュレーションを実施するため、
請求書および内訳明細をご提供ください
携帯：固定の比率、平均通話時間、呼量等のご利用状況
をヒアリングさせていただくと正確さが増します

② 通話料金シミュレーション診断

すべて**無料**にて、**現在の利用料金から1秒電話に変更**した場合のシミュレーション診断をいたします

※WEB通話明細データのご提供をいただければ、
より正確に診断することが可能です

③ シミュレーション診断結果ご報告

シミュレーション診断結果をご報告いたします

約1週間

導入ステップ

④ 導入判断

診断結果の内容をご確認のうえ、導入をご判断ください

⑤ ご契約・回線構成図作成・回線手配

ご契約と同時に回線手配に必要な回線構成図作成のため
現地調査、詳細なヒアリングをさせていただきます

⑥ 現地調査・回線開通・設置工事

工事業者による現地調査、ダークファイバー引込み、
機器設置工事・番号切り換え工事・PBX工事など

⑦ サービスご利用開始

ご利用開始となります

約1週間

約3ヶ月

現在の分計算による通話料金を無料診断
秒計算による新しい料金をご提示

■通話料金シミュレーション無料診断に必要なもの

【WEB明細サービスを申し込んでいる場合】

正確に秒計算による試算を行う事が可能です

①請求書と内訳明細をご用意下さい

※最低1ヶ月分あれば結構です

※紙で来ているケースがほとんどです,PDF等で結構です

※明細とは基本料金やオプション等の明細の事です

②エクセル・CSVなどでWEB明細データをご提供ください

※最低1ヶ月分あれば結構です

【見積に必要なWEB明細データの項目】

- ①サービス区分 (例: INS)
- ②通話開始年月日 (例: 1/1)
- ③通話先地域名 (例: 大阪)
- ④通話時間 (時: 分: 秒)
- ⑤通話料金 (例: 8)
- ⑥通話区分 (例: 固定)
- etc.

※ご利用の事業者様によって項目名称が異なります。
重要情報にあたる「通話先電話番号」は必要ございませんので、削除してそのままご提供下さい。

【WEB明細サービスを申し込んでいない場合】

概算にて秒計算による試算を行う事が可能です

請求書と内訳明細のみをご用意下さい

※最低1ヶ月分あれば結構です

※紙で来ているケースがほとんどです,PDF等で結構です

※明細とは基本料金やオプション等の内訳明細の事です

料金シミュレーションは1週間程度でご提供が可能です

■既存回線のWEB明細取得例

例)ソフトバンクテレコムの場合

<https://web-meisai.softbanktelecom.co.jp>



通話明細を選択



データをダウンロード

例)NTT東日本の場合

<https://www.billing.ntt-east.co.jp/entrance>



データをダウンロード

■イニシャルコストとランニングコスト

初期費用は、弊社側での加算請求は致しません

- ・ 初期費用（工事費）に関しては、大手通信事業者が定める金額をそのままご請求します
- ・ 弊社側にて加算請求などは一切致しませんのでご安心下さい

お申込みいただく回線種別や回線数により初期導入費用は異なりますが、

約0～3ヶ月分の削減額で相殺出来る

程度の金額が一般的です

**施設回線数・追加オプションによって初期・月額費用が変わります
お申し込み後、現地調査や詳細なヒアリングを実施します
調査結果をもとに御見積もりをご提出致します**

現在、導入をご検討のお客様へのご請求は大手通信事業者からとなります
今後も安心してご利用いただけるよう、CS向上に努めてまいります
(2014年9月運用開始予定)

■目標達成に向けて…

弊社は、お客様のご利用の状況・ご要望に沿った形で、
社の利益に直結するプロジェクトとして最適な提案を致します

※サービスの性質上、お客様のご協力なくしてプロジェクトをスピーディーに進める事ができません
※目標であるコスト削減(＝利益)を達成するのに、時間がかかってしまうケースがございます

【通信コスト削減成功のポイント】

コスト削減＝純利益
→利益プロジェクトという共通目標

情報のご提供やヒアリング等で少々ご面倒をおかけすることもあります
何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます